



7:1入院基本料における「重症度、医療・看護必要度」の低負担で迅速かつ正確な把握に向けた取り組み

○牛嶋 拓也¹⁾ 本田 千春¹⁾ 松本 武浩¹⁾ 岡田 みずほ¹⁾ 和田 貴寿¹⁾ 伊藤 眞由美¹⁾ 一橋 了介¹⁾
濱本 洋子²⁾ 浅田 眞瑞³⁾ 山崎 由貴⁴⁾ 本多 正幸¹⁾

1)長崎大学病院 医療情報部 2)長崎大学病院 看護部 3)長崎大学病院 医事課 4)長崎大学病院 管理課

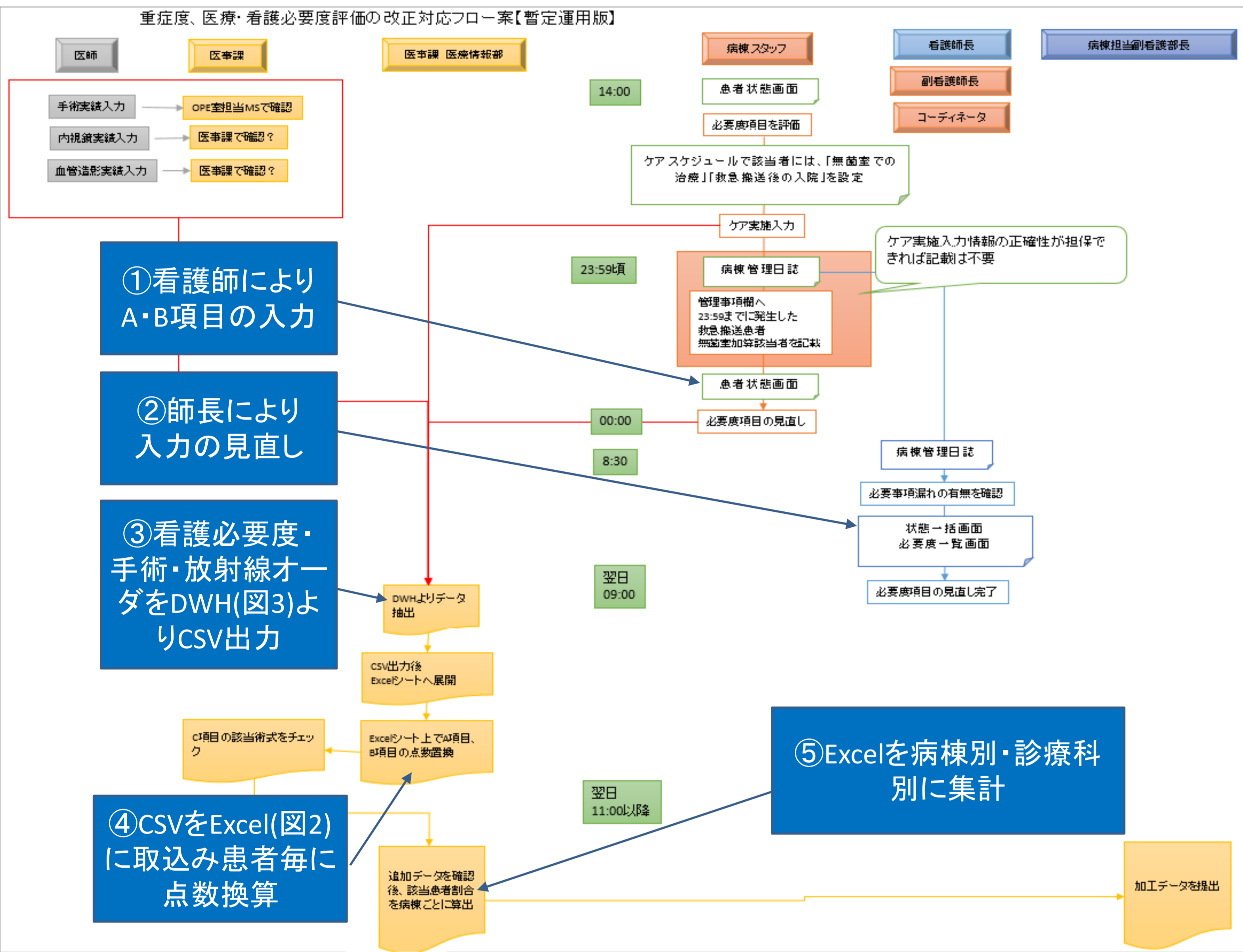
はじめに

平成28年度診療報酬改定では、7:1入院基本料を算定するための施設基準要件が厳格化され、**一般病棟における「重症度、医療・看護必要度(以下、看護必要度)」の評価割合が25%へと引き上げられた。**7:1入院基本料の確実な算定は病院経営に重大な影響を与えるが、重症患者率の正確な把握は決して容易でなく、迅速に病床コントロールに反映させる必要がある。平成28年4月より新基準による看護必要度の評価を検討したが、看護必要度改定に対する電子カルテシステムの改修は当初、平成28年9月を予定されており、新基準での看護必要度の評価を行うことができなかったため、我々は本院の電子カルテシステムおよびDWHを使って迅速、正確にその時点の看護必要度を評価する仕組みを構築したので報告する。

対象と方法

<本院の環境>

電子カルテシステム(看護必要度機能): NEC社製 「MegaOak HR」 ver.R8.0.0
DWH : Data Cube 社製 「MedicalCube」 ver2.1.1



<図1: 看護必要度運用フロー>

- 電子カルテシステムからDWHへのデータ連携は毎日夕方に自動で行われている。
- 毎日11時にDWHより前日データの抽出を開始している。
- 15時までに看護部に提出している。

<Excelシートの工夫点>

- A項目B項目C項目の点数対照表を別シートに作成し、メンテナンスを行いやすした。
- 手入力が必要なセルは背景色をピンクにした。
- 計算式を埋め込んだセルの列は誤って変更されないよう非表示にした。
- 操作が複雑な集計操作はマクロ機能を使用して自動化を実現した。

<図2: 看護必要度Excelシート>

<図3: DWH検索・抽出結果画面>

<図8: 看護必要度一覧画面: 改修前>

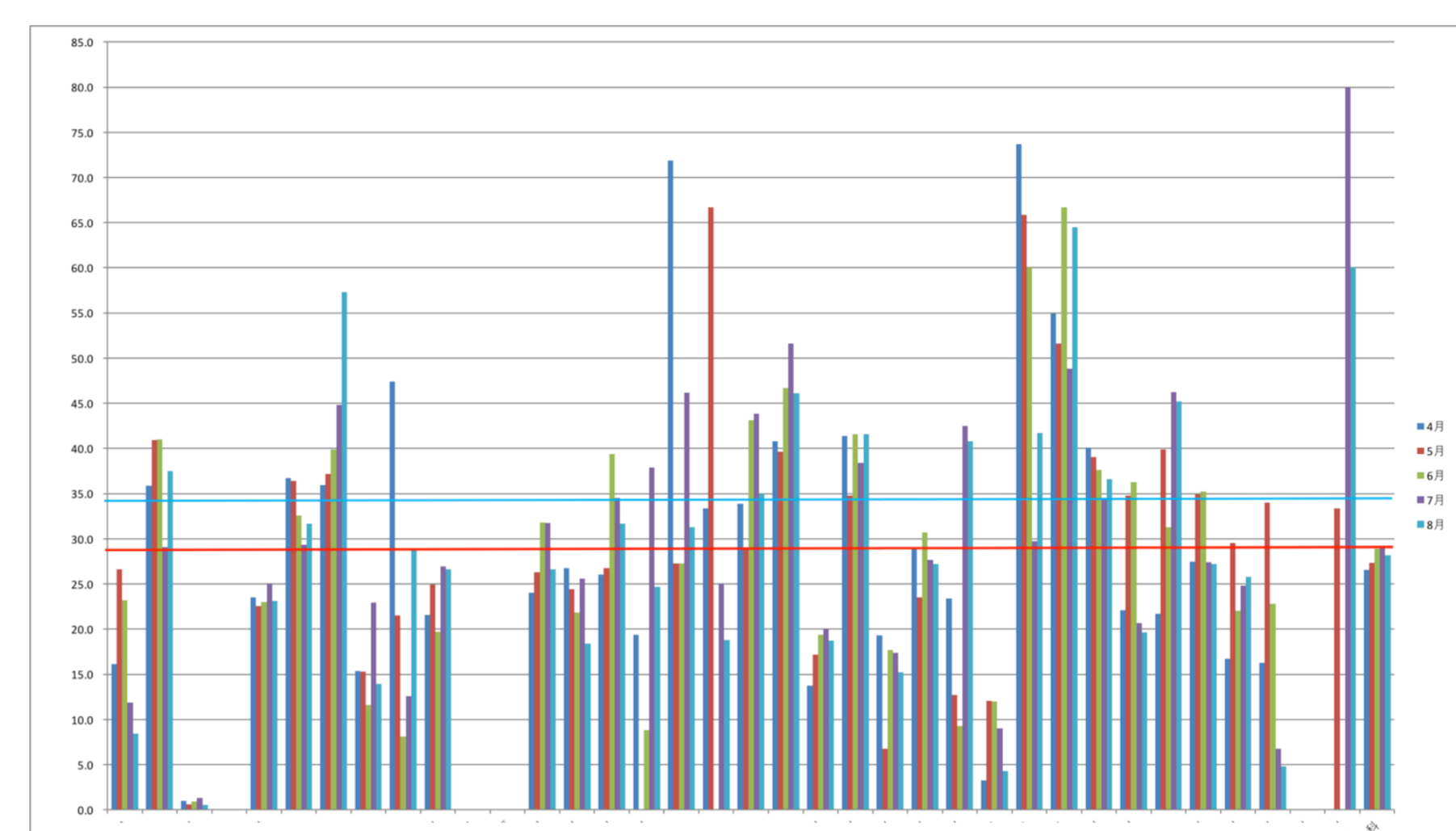
<図9: 看護必要度一覧画面: 改修後>

結果

- ・日々の看護必要度の基準を満たしている患者の割合を把握することができた。
- ・病棟別に患者毎のA,B,C項目詳細を確認できる。
⇒看護必要度を意識した医師・看護師共同の病床管理が可能となり、看護必要度の先々のシミュレーションを行いたいとの要望につながった。
- ・病棟毎の看護必要度の以外に、**診療科別の看護必要度を可視化することができた。**
⇒病棟別、診療科別の日別、月別データの集計(図4)及びグラフ化(図5)
⇒病棟毎、診療科毎の結果をわかりやすくすることができた。
院内のホームページに掲示し、だれでも結果を確認できるようになった。

<図4: 診療科別看護必要度日別推移>

※赤・・・看護必要度25%未満、黄色・・・25%以上30%未満、緑・・・30%以上



<図5: 診療科別看護必要度月別グラフ>

<問題点>

- ・「無菌室での治療」「救急搬送後の入院」は電子カルテシステムにデータがないためDWHに連携することができない。
- ・入院中に複数の手術を行った場合等、どの手術を評価対象とするかの判断が難しく自動化することができない。
⇒看護師と医事課職員で分担してExcelシートに手入力する。
日々の集計を行う上で一番時間を要する作業である。

考察と結論

<集計結果からわかったこと>

- 看護必要度の基準を満たす患者の割合が病棟間でばらつきがある。
- 週半ばは割合が高いが週末になるにつれて割合が低くなる。
⇒病床管理において看護必要度をより意識するようになった。

<取り込み中に発生した問題>

- 改定で追加となったA項目の点数換算が手入力である。
⇒DWHでデータ抽出を行うも抽出に数時間かかり、断念。
- C項目における入院中の複数手術の評価が手動である。
⇒判定基準が難しく、自動化することはできなかった。

<取り組みによる効果>

- 電子カルテシステムの看護必要度機能改修へ反映することができた。
⇒手術実施データ、放射線依頼データを取り込む仕様にした。
C項目の対象となる手術、麻酔、内視鏡、血管造影の一覧はマスタとして利用した。
- 改修後の看護必要度機能で入力された看護必要度も集計を行うようになった。
⇒DWHにて、病棟別、**診療科別の看護必要度の日別集計、月別集計を行っている。**
- 看護必要度のシミュレーション用Excel(図6)により先々のシミュレーションができるようになった。

<図6: シミュレーション用Excelシート>

<図7: 看護必要度改修後のDWH検索結果画面>

<図10: 看護必要度入力画面: 改修後>

改修後の看護必要度画面